



ウサギはなぜ鳴かないの

仲間同士の通信をあまりしないため

耳が長いのに、ノウサギ類はほとんど声をあげません。とてもいたいときや交尾のとき、グーとうめき声をあげる程度です。長い耳は、体の熱を下げたり、敵のいる場所を知るために使われるようで、仲間同士の通信には使われていないようです。

ウサギの種類

一口にウサギといっても大変種類が多いので、少し整理します。ウサギは、ウサギ科とナキウサギ科の二つに仲間わけされます。さらに、ウサギ科は、ノウサギ類とムカシウサギ類に分かれます。

日本には、北海道にユキウサギ、本州・四国・九州にノウサギがすんでいます。また、奄美大島には、ムカシウサギ類のアマミノクロウサギがいます。

カイウサギは、ウサギ科のヨーロッパアナウサギをかいならしたものです。

ノウサギ、アマミノクロウサギ、カイウサギともに鳴きません。

ナキウサギ

北海道には、ナキウサギがすんでいます。名前のとおり、よく鳴きます。オスとメスで岩場に一つのなわばりを作り、「キチー」または「プチッ」というするどい声で、連絡をとっています。ナキウサギはノウサギ類とちがって、昼間活動します。

(監修・今泉 忠明)

